



やってみた日、  
それがあなたの  
アースデイです。

環境問題は、ある意味では人とそれ以外の生物、人と地球、人と人のコミュニケーションの問題ともいえます。

そして私たちはだれも、この地球と100%自分を主体として関わっています。それは、家族や友人、大切な人たちとの関係に似ています。

だからこそ、アースデイのリーダーシップをとるのは、私たち一人ひとりなのです。

アースデイには、代表も規則もありません。ただ、次の2つのことを心がけていきたいと思っています。

①アースデイは、民族・国籍・思想・信条・政党・宗派をこえて、だれもが自由にその人の方法で、地球環境を守る意思表示をする国際連帯行動です。

②アースデイは西暦2000年にむけて、毎年10年間続けます。

すべての人が同じように、かつまったく自由に起こせる、世界初のそしてたぶん唯一のアクションがアースデイです。

共通のアースデイマークを使ってもらうこと、みなさんの活動を互いに知らせあうためにアースデイ事務局に活動状況を知らせていただくこと以外、「～しなければならない」という制約はありません。さっそくいまから、自分と地球とそこに住むたくさんの生命との対話、アースデイアクションを起こしてください。

## アースデイ・1990↔2000・日本

連絡先：東京都千代田区平河町1-7-3 〒102

市民運動全国センター気付

Tel：03-3234-3844 Fax：03-3263-9175

振込先：郵便振替 東京9-539138

アースデイ 1990 日本・東京事務局

# アースデイ

# はじめての方へ

## アースデイ

——地球のために行動する日。

地球に住むすべての人が、

自由に、どこでも、いまずぐ、

アクションを起こせます。

大切なのはやってみること、

そして続けること。

アースデイは一人ひとり、

誰もがリーダーです。

# はじめに

街頭で見かけるビラ配り。受け取って5m先の路上にポイ!? 配る方も受け取る方もゴミや森林資源のことなんてお構いなし。つけっぱなしの電灯にテレビ、車の窓から空き缶をポイ捨て、夏にふるえるオフィスの冷房…。あなたにも覚えがありませんか? みんなけっこう無頓着。そんな無頓着さが、地球をいつのまにか蝕んでいたのです。地球の危機は、はるか未来のことではありません。レモンジュースのような雨、立ち枯れて沈黙する森、穴のあいたオゾン層、地球はますます暖められ、砂漠はますます広がっています。

## 4月22日はアースデイ

病んでいる地球、どうしたら救うことができるのでしょうか? オゾン層の破壊、温暖化、熱帯雨林の破壊、その他さまざまな世界大の脅威を前にして、たいていの人は無力感にうちひしがれてしまいます。けれども、地球に生きている私たち人類が、この泥沼に自分たちを落としいれたのですから、私たち自らが、これを救い出すべきです。

一人ひとりが行動し、さらにまた多くの人びとが力を合わせることによって、とてつもないことをなし遂げることができるのだという信念に根ざし、世界中の人びとが手をとりあって未来を切り拓いていくためのアクション、それがアースデイです。アースデイは、絶望感に打ち勝つ希望を与えてくれました。

アースデイの誕生は、1970年4月22日。アメリカで行われ、その後10年ごとに開催されてきました。さらに90年のアースデイでは90年代を“地球環境の10年”と位置づけ、今後は毎年行われます。

地球の営みに国境がないように、まさに今、「地球規模で考え、地域で行動する」ことが求められています。アースデイが成功する



かどうかはあなた次第。何々をしなければならない、という決まりはありません。一人ひとりが自らの意思とアイデアで行動することです。

## 1970

1970年4月22日、アメリカで行われたアースデイを組織したのは当時スタンフォード大学の全学学生自治会委員長をしていたデニス・ヘイズ氏。全米の学生や地域社会の住民など、なんと2000万人以上もの人々が参加し、環境への関心を何らかのかたちで表現したのです。

例えば—

- ◆ニューヨーク市では市長が5番街からすべての自動車を締め出し、サンフランシスコでは10万人もの人びとが「エコロジー・フェア」に繰り出しました。

- ◆連邦議会は、議員たちがそれぞれの出身地で環境問題についての討議会などに出席できるよう正式に休会となりました。

- ◆3つの商業テレビネットワークは全米各地のイベントの実況中継を行い、公共放送は一日中アースデイの特別番組を編成。さらに、多くの全国紙・地方紙は環境問題の特集記事を組みました。

- ◆自動車労連は、スモッグの出ない車を呼び物にして、セントルイスのダウンタウンをパレードしました。

- ◆ある学生は地球の尊さを表現するために、キャンパスの土を集めて袋に入れ、銀行の夜間金庫に1年間“預け”続けたのです。

このほかにも、実に多彩なアクションが展開されました。

このアースデイをきっかけに、その後も引き続き人びとの関心が環境問題に払われるようになり、環境保護庁設置をはじめ大気浄化法、水質浄化法などさまざまな環境法が整備されたほか、環境問題についてマイナスの態度を取り続けていた議員が選挙に落選したりしました。その他、超音速旅客機の開発がストップし、軍は東南アジアにおける枯れ葉剤の使用を禁じられるなど、アースデ



